

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年7月9日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年7月9日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<p>【5号機廃棄物処理建屋ブリコートポンプ室の火災報知器発報について】 5号機廃棄物処理建屋ブリコートポンプ室の火災報知器が発報し、室内にもやを確認。消防により「火災ではない」と判断。 原因は、空気作動弁駆動用空気配管に設置してあるルブリケータ※上部蓋から潤滑油が噴霧状にポンプ室内に舞い、火報が発報したと考えている。 ※駆動部の潤滑を目的に、油を霧状にして空気配管に送り込む機器</p>	GIII
2	<p>【5号機タービン補機冷却系熱交換器(A)の防食亜鉛棒外れについて】 5号機タービン補機冷却系熱交換器(A)点検において、海水入口側配管の腐食対策として取付けられていた防食亜鉛棒3本中2本が外れているの確認。 防食亜鉛棒は1本で腐食防止の機能を満足する。 今後、外れた防食亜鉛棒2本について取替予定。</p>	GIII